

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	173
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
				農業振興ビジョン	
	法令・例規等				
事業目的		対象	農家及び農業者		
		意図	経営の安定化		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)						
	鳥獣被害対策として、個体数調整、防除柵等の設置補助、有害鳥獣捕獲資格者の狩猟免許取得や地区一丸となった取組を支援しました。また、CSF(豚熱)のまん延防止のため、イノシシの捕獲を強化するとともに、座光寺地区の侵入防止柵の効果が高めるため、隣接する高森町と現状を共有し懇談を行いました。鳥類の対策では、専門家を講師に講演会の開催、餌付けストップキャンペーンに取り組みました。自然災害対策については、霜、台風、雪等による農作物被害が予想される場合に、農業情報メールや等を活用して注意喚起を行うとともに、被害発生の有無及び被害状況について、生産団体等と連携して迅速且つ正確な把握に努めました。		鳥獣被害対策謝礼(報奨金)				31,162						
			サル行動調査委託料他				628						
			鳥獣被害対策協議会負担金他				4,485						
			鳥獣被害防除電気柵設置事業補助金他				555						
			南信農業共済組合運営事業補助金他				1,947						
			その他の経費				0						
			指標名(数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
						計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			農作物鳥獣被害金額		千円	64,000	43,577	64,000	43,837	44,000	31,644		
野生鳥獣捕獲頭数			頭羽	2,300	2,752	2,300	2,464	2,790	2,520				
1年度決算(千円)		予算額	44,342		特定財源内訳及び補正事項								
		決算額	38,777		(県)鳥獣被害防止総合対策交付金(1/2) 9,029千円								
財源の状況		国庫支出金	0		(県)野生鳥獣総合管理対策事業補助金(1/2) 475千円								
		県支出金	9,515		(県)農作物等災害経営支援利子助成事業補助金(1/2) 11千円								
		地方債	0										
		その他	0										
		一般財源	29,262										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	6	1	4	39	1	40,965	36,830	農作物鳥獣被害対策事業費	
2	1	6	1	4	39	2	3,377	1,947	農作物自然災害対策事業費	
3										
4										
5										
6										
7										
振返り課題認識		野生鳥獣による農作物被害金額は減少傾向にあるものの、依然としてサルや鳥類(カラス、ヒヨドリ・ムクドリ)による被害が大きいため、被害状況に応じて必要な対策を講じていく必要があります。また、CSF(豚熱)のまん延防止を図るためイノシシの捕獲の強化を継続していく必要があります。自然災害による農作物等の被害については、被害の未然防止に努めるとともに、被災後の栽培管理や支援策を検討するため、迅速かつ的確に被害状況を把握する必要があります。								
上記の課題解決のための有効策		サル、鳥類については、生態を理解するとともに生息域を把握して被害対策に取り組む必要があります。特に、鳥類は広域的な取組を推進していく必要があります。自然災害の防止では、農家に必要な対策を講じてもらうための情報を正確に伝達する必要があります。また、被害状況を迅速且つ正確に把握するため、現地調査体制を強化していく必要があります。								
次年度に向けての取り組み		鳥獣による農作物被害を軽減するため、個体数調整や防除柵等の設置補助、地区一丸となった鳥獣被害対策の取組の支援など専門家の知見も活用しながら対策に取り組みます。自然災害に関する情報提供、生産団体と連携した被害調査体制を構築して実態把握に努めるとともに、自然災害の備えとして共済等への加入促進のPRを行います。								